

公益財団法人 サントリー芸術財団 音楽事業部

107-6022 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル22階 私書箱509号 Tel: 03-3582-1355 Fax: 03-3582-1350

Nosfa0041 (2020.4.2)

第19回（2019年度）佐治敬三賞は 「THE 鍵 KEY（ザ キー）」に決定



©Shin Sumimoto

作曲・演出：

フランチェスカ・レロイ

©lemon yellow photography

公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤 剛、鳥井信吾）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第19回（2019年度）受賞公演を「THE 鍵 KEY（ザ キー）」に決定しました。

●選考経過

応募のあった2019年実施公演について2020年2月12日（水）ANA インターコンチネンタルホテル東京において選考会を開催、慎重な審議の結果、第19回（2019年度）佐治敬三賞に「THE 鍵 KEY（ザ キー）」が選定され、3月31日（火）の理事会において正式に決定された。

●賞金 200万円

●選考委員は下記の7氏

伊藤制子、伊東信宏、片山杜秀、白石美雪、野々村禎彦、

船木篤也、水野みか子

（敬称略・50音順）

<贈賞理由>

谷崎潤一郎の『鍵』を原作にした異形のオペラである。上演場所は劇場のひとつの舞台ではなく、どこかの家の複数の部屋でなければならない。それなりに大きな洋館か日本家屋。その部屋に、歌手やダンサーや器楽奏者が散らばり、同時進行的に演じる。言わば「複室内オペラ」である。観客・聴衆は屋内を自由に移動しつつ鑑賞する。その意味では「遊歩オペラ」である。

そういう作品の形態が、『鍵』の小説としての構造を、音楽劇に転換するのに、よく適っている。なぜなら『鍵』は、主にひとつの家を舞台にして、そこに住み、あるいは出入りする登場人物の欲望の葛藤を、それぞれが一人称で語り、組み合わせられ、その相反が物語を乱反射させ、混乱させてゆく小説なのだから。同じ時間と空間を共有しながら、登場人物各々は別世界を生き、一本の筋道、ひとつの舞台には、決してのらない。人間の日常でも小説でも劇でも人が食い違うのは全く当たり前だが、それを表現する形式において『鍵』は独創的であり、そこに合う音楽劇の見事なやり方を、『THE 鍵 KEY』は発見している。

作品の初演は、2018年に東京の千住の「仲町の家」で行われた。今回の受賞対象である2019年の公演は、東京の谷中に大正期に建った、彫刻家、平櫛田中の旧邸での再演である。1階のアトリエや茶の間、2階の座敷などが「複室内」を形成した。それがまたよかった。なかなか贅沢な、近代日本の芸術家の空間が、谷崎文学と共振した。観客・聴衆は、遊歩的というよりも探偵的に家を彷徨し、『鍵』らしいスリリングな時空間を味わえた。歌い手の松平敬、工藤あかね、野田千恵子、ダンサーの綾香詳三は、各々の役を十分に勤め上げ、和洋混交の8人の器楽奏者は相応しいアトモスフェアを添えた。身体と響きが互いに呼び交わしては反れる、不可思議な時空間が、平櫛邸に現出した。作曲と演出を兼ねるフランチェスカ・レロイのアイデアは『鍵』の鍵穴に嵌った。

なお、審査会では、作曲に緩さがあり、それ即ち音楽の密度の薄さであって、音楽作品の評価として如何なものかという議論があった。しかし、もしも音楽の吸引力が強く、観客・聴衆が一音も聴き落とせないと一部屋にとどまっては「遊歩オペラ」は成立すまい。『THE 鍵 KEY』では、薄さ・緩さも芸のうちなのであろう。原作と作曲と演出と上演空間と演者の五拍子が揃った稀有な成果と認め、贈賞する。

(片山杜秀委員)

<公演概要>

名 称：「THE 鍵 KEY (ザ キー)」

日 時：2019年5月19日(土) 18:00

25日(土) 14:00

26日(日) 14:00、18:00 (全4回公演)

会 場：旧平櫛田中邸アトリエ(東京都台東区上野桜木)

作曲・演出：フランチェスカ・レロイ

原 作：谷崎潤一郎「鍵」1956年出版

出 演：バリトン(夫)：松平 敬

ソプラノ(妻)：工藤 あかね

メゾソプラノ(娘)：野田 千恵子

ダンス(木村)：綾香 詳三

尺八：松本 宏平

コントラバス：椎名 有紀子

笙：小島 篤美

チェロ：久保田 佑里

小鼓・締太鼓：小川 実加子

ヴァイオリン：早川きょーじゅ

琵琶：久保田 晶子

クラリネット：三宅 博子

振 付：石本 華江

ドラマトウルク：アレクサンドラ・ルター

照 明：植村 真

フライヤー・プログラムデザイン：山下 絵理

企画制作：山下 直弥

主 催：「鍵」プロジェクト実行委員会

以 上

(ご参考)

佐治敬三賞について

公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤 剛、鳥井信吾）は、故・佐治敬三（サントリー元会長、サントリー音楽財団元理事長）の功績を記念して、2001年度（平成13年度）から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円です。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては1969年（昭和44年）に鳥井音楽財団（現サントリー芸術財団）を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、当財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたりました。

これまでの受賞公演

第1回（2001年度）

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日 東京文化会館 小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」

2001年8月31日 横浜みなとみらいホール

第2回（2002年度）

「アンサンブル・ノマド2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ リサイタルホール

第3回（2003年度）

「現代の音楽展2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館 小ホール

第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

第5回（2005年度）

「next mushroom promotion vol. 8 『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

2005年10月15日 ムラマツリサイタルホール新大阪

第6回（2006年度）

「武生国際音楽祭2006」

2006年9月2日～10日 越前市文化センター 他

第7回（2007年度）

「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×藤井快哉DUO」

2007年11月17日 兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ピッコロシアター

第8回（2008年度）

「実験室 vol.2 『偽のアレッキーノ／カンパネッロ』」

2008年3月27日・28日 ミレニウムホール

第9回（2009年度）

「クロノイ・プロトイ 第5回作品展～弦楽四重奏の可能性」

2009年12月9日 東京オペラシティ リサイタルホール

第10回（2010年度）

「井上郷子^{さとこ}ピアノリサイタル#19 モートン・フェルドマン作品集」

2010年2月28日 東京オペラシティ リサイタルホール

「東京シンフォニエッタ第28回定期演奏会 湯浅譲二特集」

2010年12月10日 東京文化会館 小ホール

第11回（2011年度）

「林千恵子メゾソプラノ・リサイタル『アペルギス&グロボカール』」

2011年7月27日 門仲天井ホール

「児玉桃ピアノ・ファンタジーvol.1」

2011年9月17日 京都府立府民ホール “アルティ”

2011年9月19日 東京文化会館 小ホール

第12回（2012年度）

「kuniko plays reich in Kyoto」

2012年3月18日 京都芸術センター 講堂

「Sep.5 2012 Thanks to John Cage」

2012年9月5日 サントリーホール ブルーローズ

第13回（2013年度）

「東京現音計画#01～イタリア特集I：

コンポーザーズセレクション1・杉山洋一」

2013年9月13日 杉並公会堂 小ホール

「^{とうほうきたん}東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”」

2013年10月26日 津田ホール

第14回（2014年度）

「鈴木俊哉 リコーダー リサイタル《細川俊夫ポートレート》」

2014年2月11日 淀橋教会・小原記念チャペル

「ニンフェアール第10回公演 東洋と西洋の絃」

2014年7月20日 宗次ホール

第15回（2015年度）

「トム・ジョンソン《4音オペラ》」

2015年3月25日 杉並公会堂 小ホール

2015年3月28日 愛知県芸術劇場 小ホール

「DUOうたほぎリサイタル2015－春夏秋冬－」

2015年12月17日 東京オペラシティ 近江楽堂

2015年12月23日 青山音楽記念館 バロックザール（京都）

第16回（2016年度）

「伶楽舎第十三回雅楽演奏会～武満徹『秋庭歌一具』」

2016年11月30日 東京オペラシティ コンサートホール

第17回（2017年度）

「三輪眞弘+前田眞二郎 モノログ・オペラ『新しい時代』」

2017年12月8日・9日 愛知県芸術劇場小ホール

2017年12月16日 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

第18回（2018年度）

「第三回 伊左治直 個展 ～南蛮劇場」

2018年12月2日 求道会館（東京都文京区）

第20回（2020年度）「佐治敬三賞」応募について

2020年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2020年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2020年7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。
- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、当財団ホームページからダウンロード下さい。
- ・応募期間 2020年3月1日（日）から4月30日（木）
- ・お問合せ先 公益財団法人サントリー芸術財団 音楽事業部
〒107-6022

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階
私書箱509号

電話（03）3582-1355

FAX（03）3582-1350

<http://suntory.jp/sfamusic/>

以 上